



学校だより

とき・あかし錦城

2020年(令和2年)
12月24日(木)(第66号)
明石市立錦城中学校

知識と知恵のおはなし

…… 2学期終業式より ……

学校長 永田 浩史(ながた ひろし)



…… 明日から冬休みとなります。不要不急の外出やおじいちゃん、おばあちゃんの田舎への帰省の自粛など、まだまだ暮らしにくい毎日が続きそうです。みなさんはそれぞれの家庭で家族とともに何とか工夫して、過ごしましょう。テレビやラジオ、スポーツ、散歩、ランニングやウォーキング、読書もいいでしょう。家の人と料理にチャレンジする人もいます。

先生はこの2学期、江戸時代を舞台にした小説※をたくさん読みました。一つは大阪の料理人が江戸に出て小さなお店を開き、新しい料理を作り出していくお話です。もう一つは大阪の着物を扱う呉服屋さんのお話です。当然のことですが、今の時代のようにスマホやテレビなどの情報機器はありません。ましてやネットで品物を注文するなんてことができるはずありません。一つの料理をお客さんに食べてもらう。一つの反物、着物の元になる生地の手柄を考え、作り出し、お客さんに選んで買ってもらう。この二つのお話に共通しているのが、どちらも主人公たちが工夫しながら「知恵」を出し合って、「知恵」を絞って物事を解決して前へ進んでいくところです。話しの中にこんなセリフがありました。

「わたしは知恵を持ちとうございます。そのためにはぎょうさんの知識が必要です。そやから部屋の隅でもかまへんので、話だけでも聞かせてください」

また、その主人公に影響を与える人物から、

「知識いう蓄えがあつてこそ、絞り出せるんが知恵だすのや」というセリフもありました。

みなさんが日々学んでいるものは、ここでいうところの「知識」にあたります。たくさん「知識」を蓄えて、その知識だけでいくつかの場面を乗り切ることができる場合もあるでしょう。しかし、それだけではなくこれまでとはまったく違った新しいものを生み出すためには、自分の持っている「知識」と「異なる知識」を組み合わせる考え、新しいものを生み出す力が「知恵」なのではないかなと思うのです。世の中の身近なところにあふれる様々なものを見ても、最初からそこにあったわけではなく、誰かの知恵や誰かと誰かの知恵を活用して新たに生み出され、多くの人が使えるものとなってきたのではないかと考えるのです。

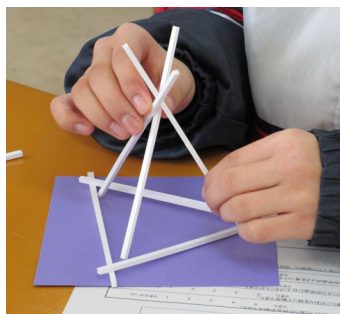
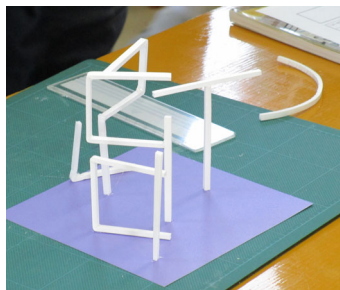
今、みなさんに蓄えてほしいものは、「知識」です。将来の夢に向かって必要な知識があれば、よくわからないけれども必要になりそうなので学ぶもの、全然知らないように見えるものもあることでしょう。あんまり性急に(せっかちに)「こんなん、いらんわ」とあきらめることはもったいない。まずは、学びましょう。そして、必要に応じて「知恵」を生み出し、絞り出していきましょう。それが、これからの暮らしや生き方を豊かなものにしていきたいと思います。

年末・年始とあわたたしくなりますが、とにかく健康に、そして安全に過ごしましょう。

これで、2学期終業式の話とします。

※「みおつくし料理帖」「あきない世傳」高田 郁

12月22日(火)美術科の研究授業(2-2)での一コマ。ストレッチボードを使った「高さ」と「動き」を表現する内容に取組んだ生徒作品。 →



年の瀬にガラガラ回す子の笑顔

知

チ・しる

●口(くち)と、音を表す矢(シ⇒チ 続けるの意)とからなり、べらべらとしゃべり続ける意味を表す。借りてしるの意味。

第20回『明石市中学校のじぎくカップ』

【男子ソフトテニス】

優勝 おめでとう！

峯川忠和くん 岩澤優くんペア

第5位

西田力生くん 長田千拓くんペア

【女子ソフトテニス】

第5位

木村早恵さん 前田萌々香さんペア

男子バレーボール加古川近郊大会

【男子バレーボール】 第3位

子どもに伝えたい『本』感動大賞

学校代表

「銀河鉄道の夜」 筒井梨亜さん

学校賞

錦城中学校

※平成30年に続いて、2回目の学校賞を受賞しました。

ふるさと明石 map 完成

▼1年生が校区周辺の校外学習で訪れ、見聞したことをレポートにまとめた「ふるさと明石 map」が完成しました。玄関ピロティに掲示していますが、今月末から文化博物館で展示されることになりました。校区にある古い史跡を見学し、調べたことを写真と文章で紹介しています。▼自分たちの住む校区は明石市の玄関口です。これから初めて会う人や初めて行く場所で、自分の育った場所を説明し、紹介するときには役立つものになるのではないのでしょうか。日本語であるいは英語で紹介するチャンスがあるかもしれません。

■展示期間 1月4日(月)～1月末まで

■展示場所 明石市立文化博物館 1階ロビー

第75代生徒会執行部(7名)決まる

▼12月の生徒会選挙の結果、前田葵さんが第75代の生徒会長として選出されました。7名の新執行部の皆さんには、旧執行部の成果を引き継ぎ、さらに新たな創意・工夫を凝らして発展させてくれるものと大いに期待しています。全校生徒の協力のもと、生き生きと活気あふれる生徒会活動にしていこう。

生徒会長	前田 葵	さん
副会長	山下 拓真	くん
委員長	松田 しほり	さん
風紀委員長	野津 柚乃	さん
保健体育委員長	三浦 佳恭	くん
文化委員長	岩原 ゆの	さん
環境委員長	丸尾 諒	くん



とき・あかし66 キタキチョウとニホンミツバチ、ハートマークの石垣

▼例によって12月11日(金)、F博士とT先生、A先生と4人で明石公園のパトロール。この日は博物館前のお地蔵さんに集合し、石垣を集中して観察。まず、目にしたのが箱堀跡近くの石垣にある隙間から出てくるニホンミツバチ。せわしなく出たり入ったりを繰り返すたくさんのハチがいました。せっせと冬に備えて巣作りに励んでいます。中を見ることはできませんが。▼松平直明公遺愛のお茶の水史跡近くの石垣前にはキタキチョウがゆらゆらと飛んでいました。この辺りの石垣は陽が良く当たり暖かくなっています。成虫で越冬する昆虫たちも暖かな所が大好きなようです。▼巽櫓下の石垣にはハートマークの模様が浮かび上がっています。神戸新聞でも取り上げられましたが、地衣類というコケに似た菌類が繁殖して、たまたまハートマークになったようです。見つけてみましょう。

